

工事第 3 5 号 町民交流センター照明器具改修工事

【図面リスト】

図面番号	図 面 名 称
E-00	表紙
E-01	電気設備工事改修特記仕様書
E-02	照明器具参考姿図（1）
E-03	照明器具参考姿図（2）
E-04	1階電灯設備平面図（改修後）
E-05	2階電灯設備平面図（改修後）
E-06	1階電灯設備撤去平面図（改修前）
E-07	2階電灯設備撤去平面図（改修前）
E-08	小ホール 負荷設備構成表
E-09	小ホール 調光装置 構成表
E-10	小ホール 特記仕様書・機器システムブロック図
E-11	小ホール 負荷設備・調光装置 外形図
E-12	小ホール 1, 2階 舞台照明設備改修平面図
E-13	小ホール 仮設計画図

おいらせ町

町民交流センター照明器具改修工事 特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

おいらせ町

2. 建物概要

建物名称	構 造	階 数	建築基準法上の	消防法施行令	施設の種類	備考
		地上	地下	塔屋	延面積(㎡)	別表第1の区分
町民交流センター	鉄筋コンクリート造	2階				既存1棟

3. 工事種目（●印の付いたものを適用する。）

		工 事 種 目				備 考
		町民交流センター			屋 外	
● 電灯設備	改修一式					
○ 動力設備						
○ 電気自動車用充電設備						
○ 電熱設備						
○ 雷保護設備						
○ 受変電設備						
○ 電力貯蔵設備						
○ 発電設備						
○ 構内情報通信設備						
○ 構内交換設備						
○ 情報表示設備						
○ 映像・音響設備						
○ 拡声設備						
○ 誘導支援設備						
○ テレビ共同受信設備						
○ 監視カメラ装置						
○ 駐車場管制設備						
○ 防犯・入退室管理設備						
○ 火災報知設備						
○ 中央監視制御設備						
○						
○ 構内配電線路						外灯設備を含む
○ 構内通信線路						
○						
○						
● 舞台照明設備	改修一式					

4. 指定部分

○ なし

○ あり 範囲： 工期：令和 年 月 日

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大官庁官庁官営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。

● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4年版）（以下「標準仕様書」という。）

● 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

● 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和 4年版）（以下「標準図」という。）

（2）機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。

なお、機械設備の部の特記仕様書は（ / ）図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	○ 適用 区 分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 <div>○ 風圧力 風速（V₀= ） 地表面粗度区分（ ）</div> <div>○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表（ ）</div>
二	○ 電気工作物保安規程	東北地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作物保安規程を適用する。
三	● 電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
四	● 機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 <div><div>① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。</div><div>② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</div><div>③ 安定的な供給が可能であること。</div><div>④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</div><div>⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</div><div>⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。</div></div>

● 環境への配慮

○ 他工事との取合い

耐 震 施 工

● 仮設工事

● 電源周波数

● はつり

○ 非破壊検査

● あと施工アンカー

● 撤去跡の補修

● 既存施設等の復旧

● 支持金物

・固定金具

● 既存盤の改修

● 総合動作試験

● 電線・ケーブル

○ 厚鋼電線管

● 合成樹脂製可とう管

● 電線本数、管路など

○ インサート

● ブラッシュプレート

○フロアプレート

○ 接地極の種類及び位置表示

● 塗装

● 機器取付高さ

（1）本工において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを分散しない又は分散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジエーノブチル及びフタル酸ジエーノエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを分散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

（1）設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の一般機器については、製造者の指定する固定方法を採用する場合は個の限りではない。

①設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。
設計用標準水平震度

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類には燃料小出槽を含む。
・重要機器は次のものを示す。

○ 配電盤

○ 発電装置（防災用）

○ 直流電源装置

○ 交流無停電電源装置

○ 交換機

○ 自動火災報知受信機

○ 中央監視装置

○

○

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（3）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

○ アスベスト含有製品調査

イ）撤去機器、器具等についてアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。

調査範囲（ ○ ）
調査方法（ ○型番確認の上、製造者ヒアリング ○ ）

ロ）下記のアスベスト含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、 ○ 本工事 ○ 別途 とする。

○（○○○○の部）特記仕様書による。

○ 足場その他

○ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。

● 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

● 内部足場 種別 ● 脚立、足場板等 ○
○ 外部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
防護シート ○ 設置する。 ○ 設置しない。

● 材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.2による。）
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種

○ 仮設間仕切り
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種

● 既設部分の養生
● 行う（ ● ビニルシート等 ○ ）
○ 行わない

50Hz

はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。

イ）放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ）範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。

イ）あと施工アンカー 接着系アンカー（接着剤（有機系））
金属拡張系アンカー（本体打込み式）
ロ）試 験 性能確認試験 ○ 行う ○ 行わない
施工後確認試験 ○ 行う ○ 行わない

機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。

イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

● 下記種類の改修等は、製造者等による作業とする。
○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ● 調光盤

● 盤類の改修前と改修後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○ 盤類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。

各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
● 照明制御装置 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備
○ 発電設備 ○ 駐車場管制設備 ○ 防犯・入退室管理設備
○ 中央監視制御設備 ● 舞台照明設備 ○

新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

屋外、及び地下ビットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量300g/㎡以上）」仕上げとする。

合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ25とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。

床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ○ 樹脂製

○ アルミ製 ○ 銅合金製
水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。

図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

● 居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。
○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
（ ○ 居 室 ○ ○ ○ ）

○ 図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。

○ タンブラスイッチ

○ OAフロアー用配線器具の蓋

○ ヘルメット用OAケーブル

○ 人感センサー用プレート

○ 監視カメラ用カメラ

● LED照明器具

● 照度測定

● 照度測定（非常用の照明装置）

○ 分電盤

○ 制御盤

ネーム付きとする。

○ アルミ製 ○ 樹脂製

特記の無いヘルメット用OAケーブルは次の仕様とする。
2P15A（接地極付抜止形）×4 コー×3m（ケーブル付）通電表示灯付

照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置： ○ 便 所（計 枚） ○ （計 枚）
天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンレールの設置場所は、原則として点検系統内の第1照明器具近傍とする。
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形（LN）」とする。

一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
○ 明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上
● 明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上

非常用の照明装置の照度測定箇所は工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。

○ 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。
○ 増込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（PF22）を1本、5個以上の場合（PF22）を2本、天井まで立上げる。
配管バンドとなる負荷には接地端子を設けない。

表1「接地極一覧表」
接地極の種類別は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外用灯接地極の埋設標は不要とする。

接地の種類別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○ 雷保護用接地	E L A	Ω以下	E P × 2
○ 雷保護用接地	E L A	Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 1組
○ 共同接地	E A E D E L H	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ A種接地	E A	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ B種接地	E B	Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 2
○ C種接地	E C	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ D種接地	E D	100Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 1
○ 漏電遮断器回路	E E L	500Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 1
○ 構内交換機（湯槽用）	E t	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ 本配線盤の保安装置	E A t	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ 電話引込口の保安器	E L t	100Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 1
○ アンテナ保安器	E L t	100Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 1
○ 拡声増幅器	E D t	100Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 1
○ 防犯装置用	E S	Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 1組
○			
○ 測定用補助接地極	E O	――	E B（D=10又はW=30）× 1
○ 避雷器用（低圧用）	E L L	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ 避雷器用（高圧用）	E L H	10Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 3連－ 2組
○ 避雷器用（モデム用）	E M D	100Ω以下	E B（D=14又はW=40）× 1

表2「機器取付高さ」

機 器	測 点	取付高(mm)	機 器	測 点	取付高(mm)			
共通	積算用計器	地上	電	集合保安器箱	天井～上端	200		
	端子盤(廊下、室内)	意中心		端子盤(廊下、室内)	床土～下端	300		
	引込開閉器	床土～中心		端子盤(EPSなど)	床土～中心	1,500		
電	分 電 盤	床土～中心	話	壁付電話機	床土～中心	1,300		
		1,500 (上限1,900以下)		壁付ワット(和室)	床土～中心	150		
	スライダ(一般)	床土～中心		1,300				
	スライダ(自動ドア)	床土～中心		1,300				
	スライダ(和室)	床土～中心		1,200				
	ツェット(一般)	床土～中心		300	時計・音声	壁掛形親時計	床土～中心	1,500 (上端1,900以下)
	ツェット(和室)	床土～中心		150		壁付子時計	床土～中心	天井高×0.9
	ツェット(台上)	床土～中心		150～200		壁付形ビデオ	床土～中心	天井高×0.9
	ツェット(厨房)	床土～中心		800～1,000	壁付ワット	床土～中心	1,300	
	ツェット(車庫)	床土～中心		1,300	壁付ワット	床土～中心	1,300	
ツェット(機械室)	床土～中心	500～1,000	表示等	情報表示盤	床土～中心	天井高×0.9		
ツェット(屋外)	地上～中心	1,000～1,300		壁付発信機	床土～中心	1,300		
ブランチ(一般)	床土～中心	2,100～2,300		ベタ、デューニウム	床土～中心	2,300		
ブランチ(衝動)	床土～中心	2,000～2,500	インタホン	壁付押ボタン(一般)	床土～中心	1,300		
ブランチ(機上)	地上端～中心	150		テレビカメラ(視器)	床土～中心	1,400		
壁掛形制御盤	床土～中心	1,500 (上限1,900以下)		テレビカメラ(子機)	床土～中心	約1,350		
動力	開閉器箱	床土～中心	1,500	テレビ	壁付ワット(一般)	床土～中心	1,300	
	制御用スライダ	床土～中心	1,300		壁付ワット(一般)	床土～中心	1,300	
	試験用接地端子箱	床土～下端	800		壁付ワット	床土～中心	1,300	
雷保護				火災報知	機器収容箱	天井～上端	200	
					機器収容箱(EPS)	床土～中心	1,500	
					テレビ端子(一般)	床土～中心	300	
受変電				設備支援等	テレビ端子(和室)	床土～中心	150	
	接地端子箱	床土～中心	500		受信機	床土～機作部	800～1,500	
					副受信機	床土～機作部	800～1,500	
誘導支援等	呼出しボタン(多機能付用)	床土～中心	900、400 (各1個)	ガレージ	機器収容箱	床土～機作部	800～1,500	
	壁付カメラ(視機)	床土～中心	1,300		発信機	床土～機作部	800～1,500	
	壁付カメラ(玄関子機)	床土～中心	1,100		表示灯	床土～中心	2,100	
	警報ベル	床土～中心	2,300		警報ベル	床土～中心	2,300	
	地下表示灯	床土～中心	1,300		液化石油ガス用	床土～上端	300	
	スライダ(車椅子用)	床土～中心	1,100		都市ガス用(軽質)	天井～上端	150	
ツェット(車椅子用)	床土～中心	900	都市ガス用(重質)	床土～上端	300			

注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

承認

設計

担当

縮 尺
A1: 1/ ---
A3: 1/ ---

設計年月日
R06.07

工事名称

町民交流センター照明器具改修工事

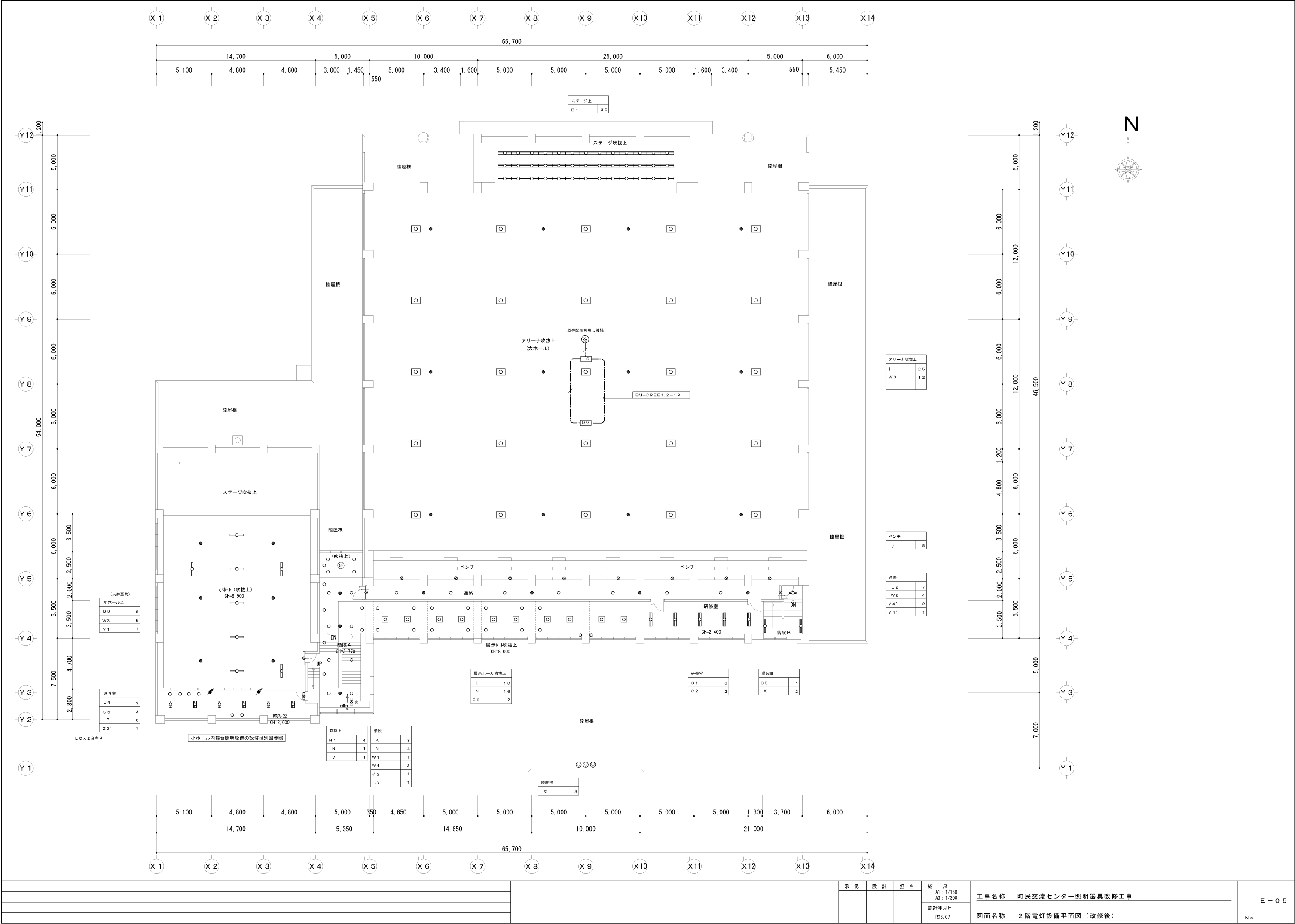
図面名称

電気設備工事改修特記仕様書

No.

E - O 1
























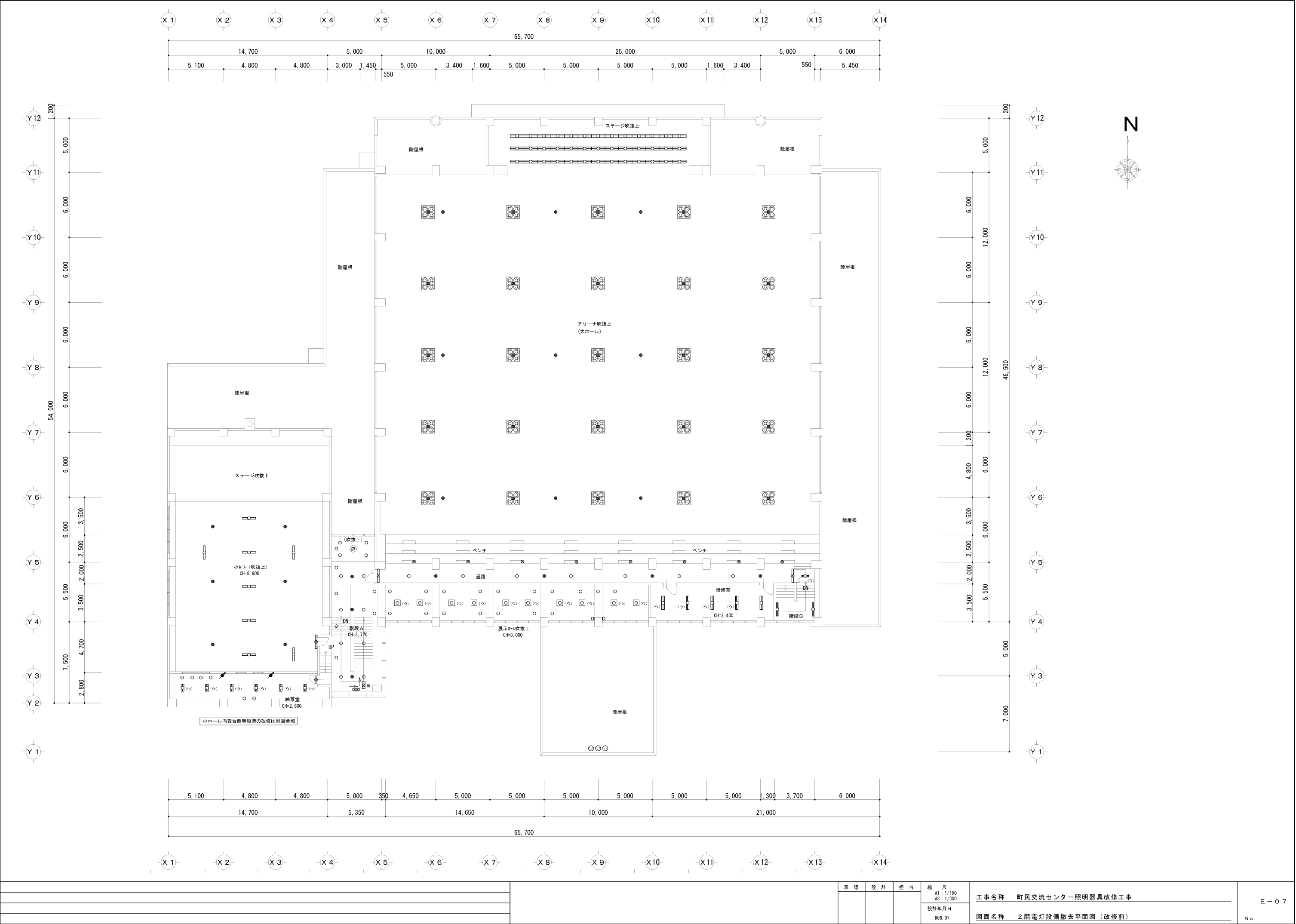
承認	設計	担当

縮尺
A1: 1/150
A3: 1/300
設計年月日
R06.07

工事名称	町民交流センター照明器具改修工事
図面名称	2階電灯設備平面図(改修後)



記 号	名 称	仕 様	備 考
	照明器具	FL 2 0 W-1	直付型
	"	FL 2 0 W-2	直付型
	"	FL 4 0 W-1	直付型
	"	FL 4 0 W-2	直付型
 (注)	"	FL 2 0 W-1	埋込型
 (注)	"	FL 2 0 W-2	埋込型
 (注)	"	FL 4 0 W-1	埋込型
 (注)	"	FL 4 0 W-2	埋込型
 (注)	"	FL 4 0 W-4	埋込型
	"	白熱灯	直付型
	"	白熱灯	埋込型
	"		壁付型
	"	HF 4 0 0 W-1	高天井用
	誘導灯		
	非常照明		
	非常照明		
	照明器具	MF + HF	高天井用
	"	HF	投光器
	視光器		



承認	設計	担当

縮尺
A1 : 1/150
A3 : 1/300
設計年月日
R06.07

工事名称	町民交流センター照明器具改修工事
図面名称	2階電灯設備撤去平面図（改修前）

負荷設備 構成表

記号	機器名称	改 修 前 設 備 内 容								工 事 区 分				改 修 後 設 備 内 容								備 考									
		仕 様				数量	単位	回路数				既設	撤去	更新	新設	仕 様				数量	単位		回路数				備 考				
								調光	直	直 200V	制御												調光	直	直 200V	制御		20A	20A	20A	DMX
F T	フットライト フロアコンセントボックス	60W × 12灯 コンセントボックス	置型	L=1.8m (フット)	4 1	台 個									○ ○		LED150Wフルカラー E付平行15Aコンセント× DMXコネクタ	L=0.99m (フット) × 1口	6 1	台 個					1 1						
FC	フロアコンセントボックス	コンセントボックス	(舞台袖)		2	個	2								○		E付平行15Aコンセント× DMXコネクタ	(舞台袖) × 1口	2	個	2									中板交換	
		コンセントボックス	(ローホリ)		1	個	3								○		E付平行15Aコンセント× DMXコネクタ	(ローホリ) × 1口	1	個	2									中板交換	
LH	ローホリゾンタイト 延長ケーブル	150W × 9灯 3色配線 置型		L=1.8m	4	台								○																既存撤去のみ、更新無し	
1B	第1ボーダーライト 同上用ジョイントボックス 同上用チェーン腕 ボーダーケーブル 接続端子箱	150W × 9灯 3色配線		L=1.8m	4	台	3								○ ○ ○		LED149Wフルカラーフラッドライト 5.5sq-3C+制御(丸型) 制御+電源用	 × 10m	8 1 8 1	台 台 組 本			1							型番:AL-LED-BL-SR1-2 型番:AL-LED-BL-SR1-JBOX	
1S	第1サスペンションライト フライダクト			L=7.2m	1	列	4								○		E付平行15Aコンセン× DMXコネクタ	12口 × 1口	1	列	2										
	ボーダーケーブル	5.5sq-9C (丸型)		× 10m	1	本									○		5.5sq-5C+制御(丸型)	× 10m	1	本										1	
	接続端子箱 照明器具	電源用 500W ハロゲンフレネルレンズスポットライト			1 8	個 台									○ ○		制御+電源用		1 8	個 本											既設改造
	延長ケーブル														○		LED102W フレネルレンズスポットライ(ハングー付) DMXケーブル	2m	8 8	台 本											型番:AL-LED-FSHT6-L
UH	アッパーホリゾンタイト コンセントボックス	150W × 9灯 3色配線		L=1.8m	4 1	台 個	3								○ ○		LED195Wフルカラーフラッドライト E付平行15Aコンセント× DMXコネクタ		7 1	台 個		2									型番:AL-LED-UHS-SR1-2
	ボーダーケーブル 接続端子箱	5.5sq-7C (丸型) 電源用		× 10m	1 1	本 個									○ ○		5.5sq-5C+制御(丸型) 制御+電源用	× 10m	1 1	本 個											既設改造
SS	サイドスポットライト フロアコンセントボックス				2	個	3								○		E付平行15Aコンセント × 1口 DMXコネクタ × 1口		2	個	2										中板交換
	照明器具 延長ケーブル	500W ハロゲン平凸レンズスポットライト			4	台									○ ○		LED102W 平凸レンズスポットライト DMXケーブル		4 4	台 本											型番:AL-LED-ASJ6-L
CL	シーリングライト コンセントボックス1 照明器具 延長ケーブル	E付平行15Aコンセント× 2口 DMXコネクタ× 1口 LED102W 平凸レンズスポットライト DMXケーブル			1 10 10	個 台 本		2		1	○ ○ ○						既設使用		1	式			2								1
CP	センターピンスポットライト ウォールコンセント	1kWクセノンピンスポットライト (整流器・ランブ付)			1 5	台 個								○			C型20Aコンセントx1口		5	個			5								既存撤去のみ、更新無し
HL	客席一般照明				1	式	6								○ ○ ○		調色型LEDダウンライト(M6000クラス DMX調光型 同上用化粧枠(特注) DC駆動LED電球		18 18 12	台 個 個		6								1	型番:AL-LED-TDL-M
	合 計			20A 調光回路			27+2										20A 直回路					21+8									
				20A 直回路			2+8										200V 20A 直回路						4+1								
				200V 20A 直回路			4+1										DMX 制御回路														12
				DMX 制御回路																											

※調光及び操作卓と配線は将来使用可能とする。

※調光及び操作卓と配線は将来6台使用可能とする。

※壁コンセントは、更新し将来使用可能とする。

[illegible]

調光装置 構成表

記号	機器名称	改 修 前 設 備 内 容		工事区分				改 修 後 設 備 内 容		数量	単位	備 考
		仕 様	数量	単位	既設	撤去	更新	新設	仕 様			
1	主幹調光器盤	1φ3W 105V／210V 50Hz 80kVA	1	式	○		○	下記、改造を実施する。	1	式	東芝ライテック(株)	
		総主幹MCCB 3P 400AF／400AT						調光制御部(D／A信号変換器)を撤去する。 × 1式				
		操作主幹MCCB × 1式						DMX分配器を追加する。 × 2台				
		分岐MCCB × 1式						演出用調光回路を直回路に改造する。 × 8回路				
		調光器 IL20A × 27回路						客席用調光回路を直回路に改造する。 × 6回路				
		MCCB 1P 50AF／20AT × 34個						※前回演出用調光回路を直回路に改造済み × 7回路				
		MCCB 1P 50AF／30AT × 2個										
		N－SW 30A × 36個										
		直出力										
		MCCB 1P 50AF／20AT × 8個										
		N－SW 30A × 8個										
		MCCB 2P 100AF／100AT × 1個										
		MCCB 2P 50AF／20AT(200V) × 5個										
2	DC調光盤						○	1φ2W 105V 50Hz	1	式	型番:TDDC―04―QD	
								総主幹MCCB 2P 50AF／20AT				
								分岐MCCB × 1式				
								調光制御部 × 1式				
								DC用調光器 × 4回路				
3	調光操作卓	制御信号 :DMX－512	1	台	○		○	下記、改造を実施する。	1	式	型番:TOLSTARⅢ	
		制御チャンネル数 :80ch						カラー制御パレットを追加する。 × 1式				
		制御回路 :512ch						※既設調光操作卓との整合性をとるため、同一メーカーでの改造とする。			東芝ライテック(株)	
		記憶シーン数 :20シーン×10ページ／場面										
		チェイス :3パターン×25ステップ／場面										
		パッチ場面 :3場面＋固定1場面										
		メインユニット部 × 1式										
		クロスフェーダ × 1組										
		プリセット／サブマスターフェーダ(切替機) × 2段										
		シーンボタン 20シーン × 10ページ										
		プリセットユニット部 × 1式										
		プリセットフェーダ 30本 × 2段										
		客席ユニット部 × 1式										
		客席フェーダ × 5本										
		自動調光用押釦 × 1組										
		ON／OFFスイッチ × 8個										
		同上用コネクタプレート										
		電源、制御コネクタ × 1式										
4	アドバンスドシステム						○	アドバンスドシステム用ノートPC	1	台	東芝ライテック(株)	

[illegible]

調光装置特記仕様

1. 適用規格

下記の規格に準拠する。
(1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)
(2) 電気設備技術基準
(3) 内線規程
(4) 電気用品安全法
(5) 日本産業規格(JIS)
(6) 日本電機工業会標準規格(JEM)
(7) 電気学会電気規格調査会標準規格(JEC)
(8) 劇場等演出空間電気設備指針(IEIEJ/JATET)
2. 定格

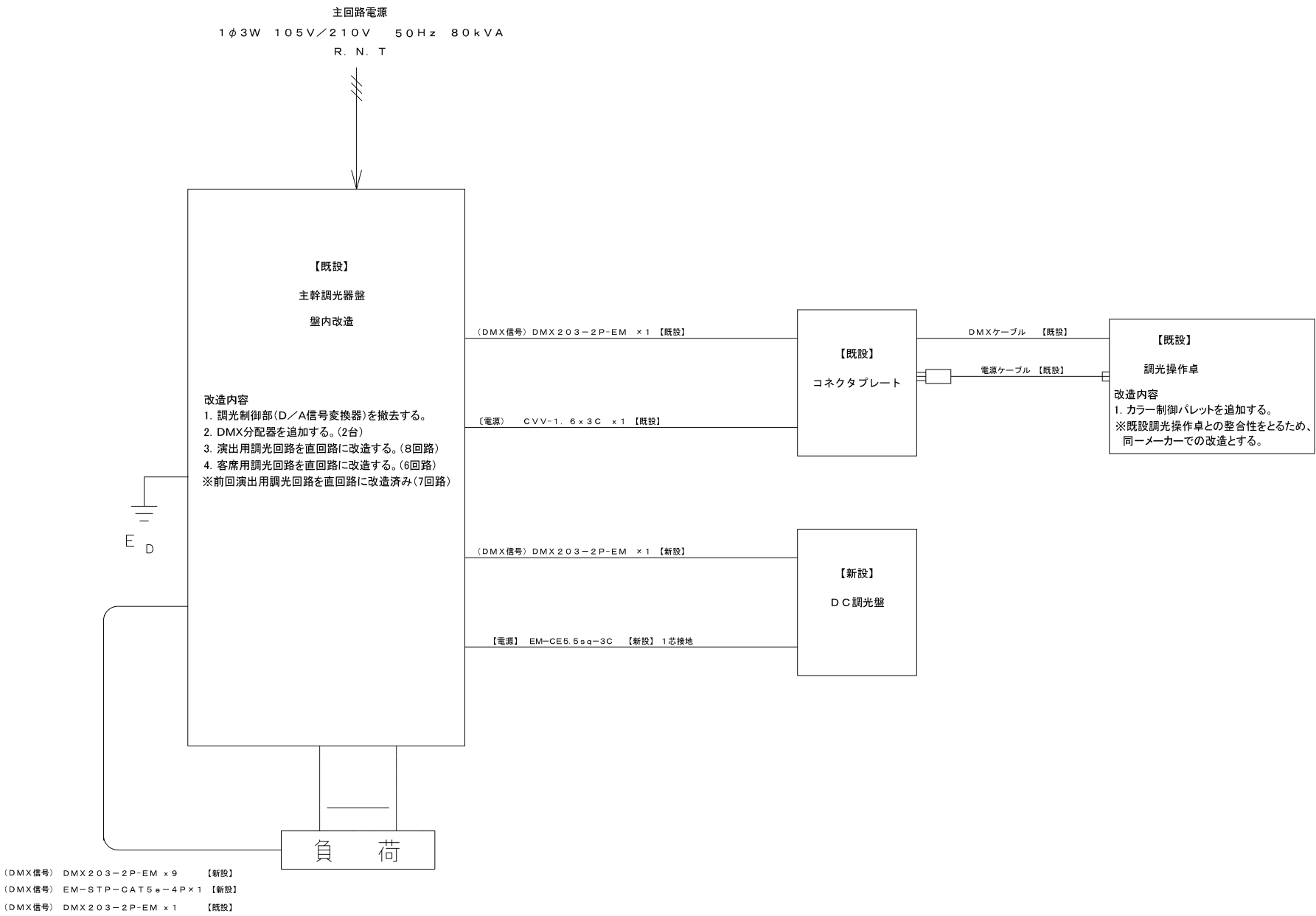
(1) 電源方式 1φ3W 105V/210V 50Hz 80kVA
(2) 周囲温度 5℃ ～ 40℃
(3) 使用方法 連続使用
3. 調光操作卓

下記、改造を実施する。
(1) カラー制御バレットを追加する。
※既設調光操作卓との整合性をとるため、同一メーカーでの改造とする。
4. 主幹調光器盤

下記、改造を実施する。
(1) 調光制御部(D/A信号変換器)を撤去する。
(2) DMX分配器を追加する。(2台)
(3) 演出用調光回路を直回路化に改造する。(8回路)
(4) 客席用調光回路を直回路化に改造する。(6回路)
※前回演出用調光回路を直回路化に改造済み(7回路)
5. 舞台LED照明器具

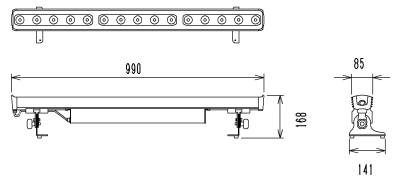
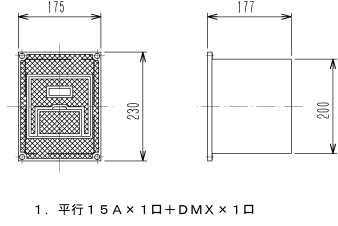
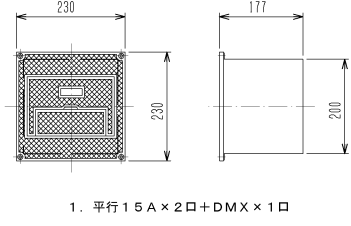
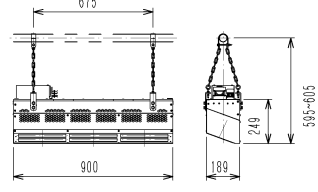
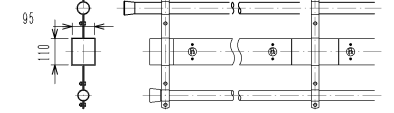
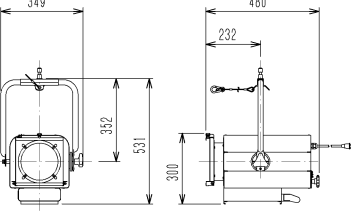
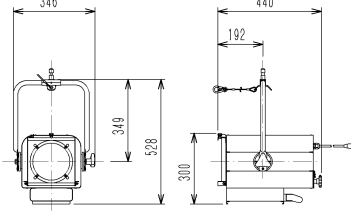
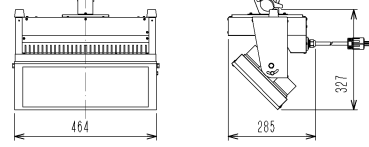
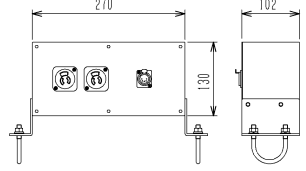
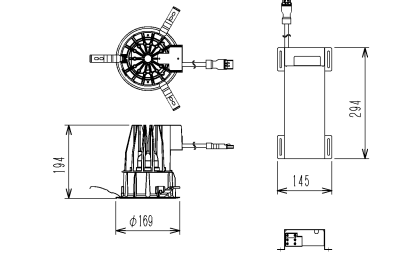
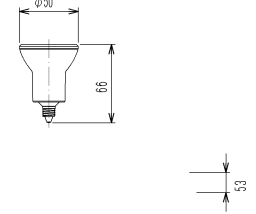
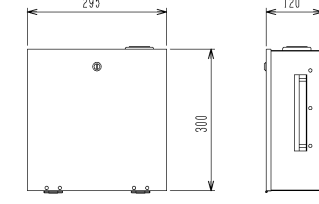
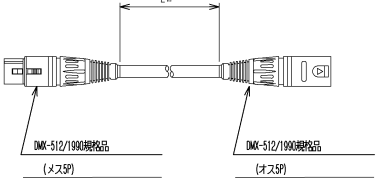
(1) ボーダーライト(LED149Wフルカラーフラッドライト)
アッパーホリゾントライト(LED195Wフルカラーフラッドライト)
LED素子6色(赤、緑、青、シアン、アンバー、白3000K)を搭載する。
調光方式はDMX調光とし0～100%の円滑な連続調光が可能とする。
DMXリモート操作は30モード、手元操作は3モードとする。
ファンレスの自然空冷式とする。
(2) スポットライト
(LED102W平凸レンズスポットライト、LED102Wフレネルレンズスポットライト)
LED素子1色(白3000K)を搭載する。
調光方式はDMX調光とし0～100%の円滑な連続調光が可能とする。
ファンレスの自然空冷式とする。
LED102Wフレネルレンズスポットライトは、ハロゲン500W・1kW相当
切り換えモードが可能とする。
(3) 客席ダウンライト(調色型LEDダウンライト M)
LED素子2色を搭載する。
調光方式はDMX調光とし0～100%の円滑な連続調光が可能とする。
調光と共に色温度が1800K～3000Kに可変する。
ファンレスの自然空冷式とする。
アドバンスドシステムにより、下記機能を有するものとする。
① DMXアドレスの変更、点灯/消灯エリアを自由に設定できる。
② 調光特性を調光モード(3000K～1800K、2700K～1800K)
単色モード(3000K/2700K)から選択できる。
③ 調光カーブを設定できる。
(2. 3乗:JATETーA近似、2. 7乗:JATETーB近似、リニア)
④ 明るさが変化するスピードの変更ができる。
⑤ カットイン、アウト機能(瞬時点灯、消灯)の選択ができる。
⑥ 明るさの上限、下限設定ができる。
6. 接地配線工事

(1) 接地線のない負荷回路には、新たに接地線を敷設する。
配線が困難な場合は、舞台照明用の金属管などから
ボンドアース線等で処理し電氣的に接続があることを確認する。

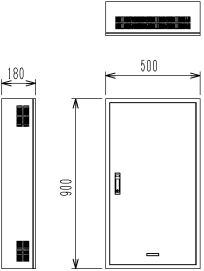


システムブロック図

負荷設備

F T	LED150W フルカラーパーライト	F C	フロアーコンセントボックス (フット・舞台袖・SS)	F C	フロアーコンセントボックス (ローホリ)	B	LED149W フルカラーフラッドライト		
									
1 S	フライダクト	S・SS	LED102W平凸レンズスポットライト	S	LED102Wフレネルレンズスポットライト	UH	LED195W フルカラーフラッドライト	UH	コンセントボックス
									
D L	調色型LEDダウンライト (M)	S L	DC電球 (ランプのみ交換)	接続端子箱		延長・制御ケーブル DMXケーブル			
									

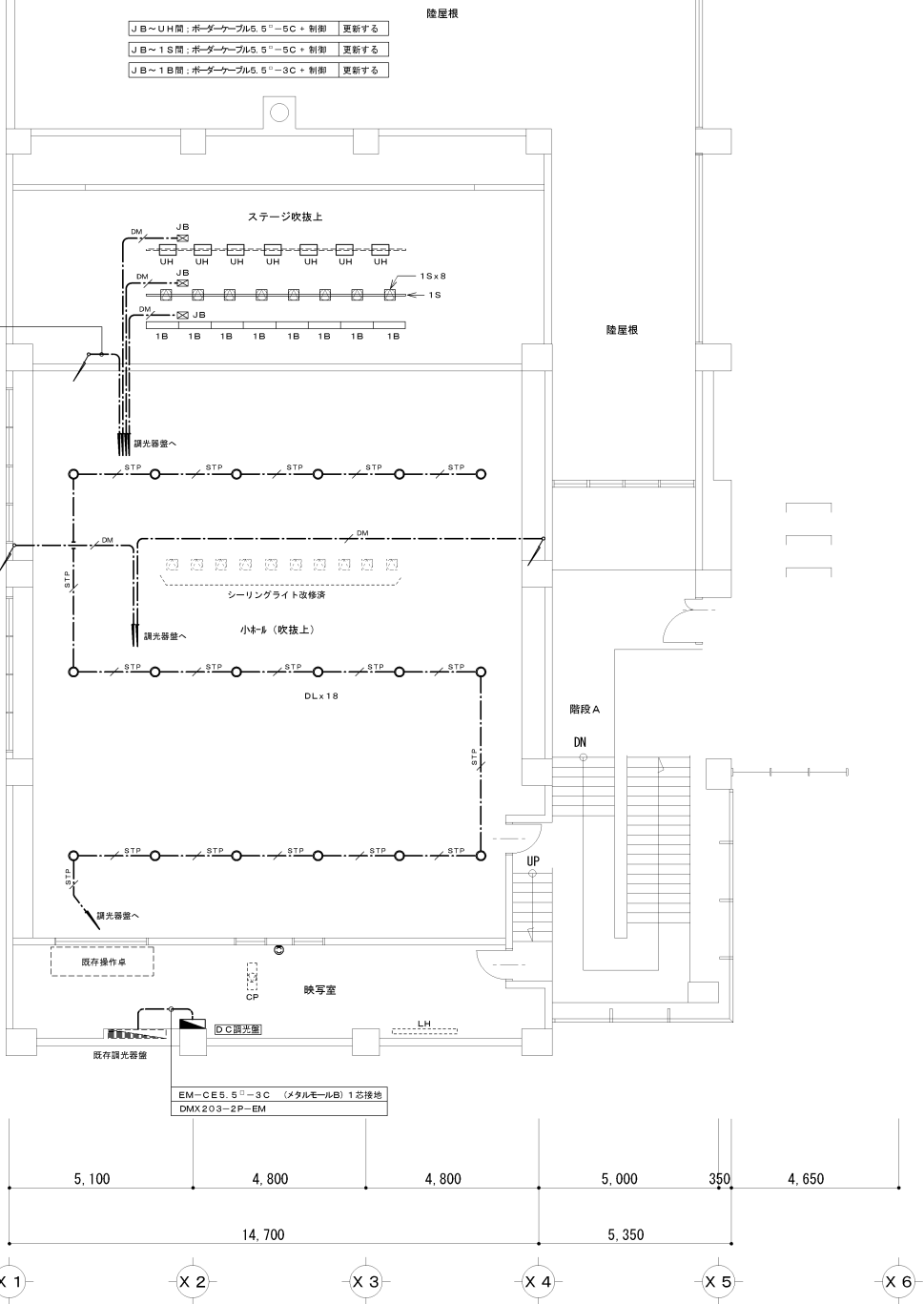
調光装置

2	DC調光盤
	

凡 例			
記 号	名 称	仕 様 備 考	工 事 区 分
PB	プルボックス	SS250×250×150	新 設
FT	フットライト	案図参照	更 新
LH	既存ローホリゾントライト	更新しない	既存撤去
FC	フロアーコンセントボックス		中板交換
SS	サイドスポットライト	案図参照	更 新
EC	壁コンセント	C型20Aコンセント	"
JB	接続端子箱	電通用	既存改造
UH	アッパーホリゾントライト	案図参照	更 新
1S	第1サスペンションライト	"	"
SUS	サスペンションフライダウト	"	"
1B	第1ボーダーライト	"	"
CP	既存センターピンスポットライト	更新しない	既存撤去
DL	客席用ダウンライト		更 新
SL	壁面照射用ダウンライト		ランプ交換

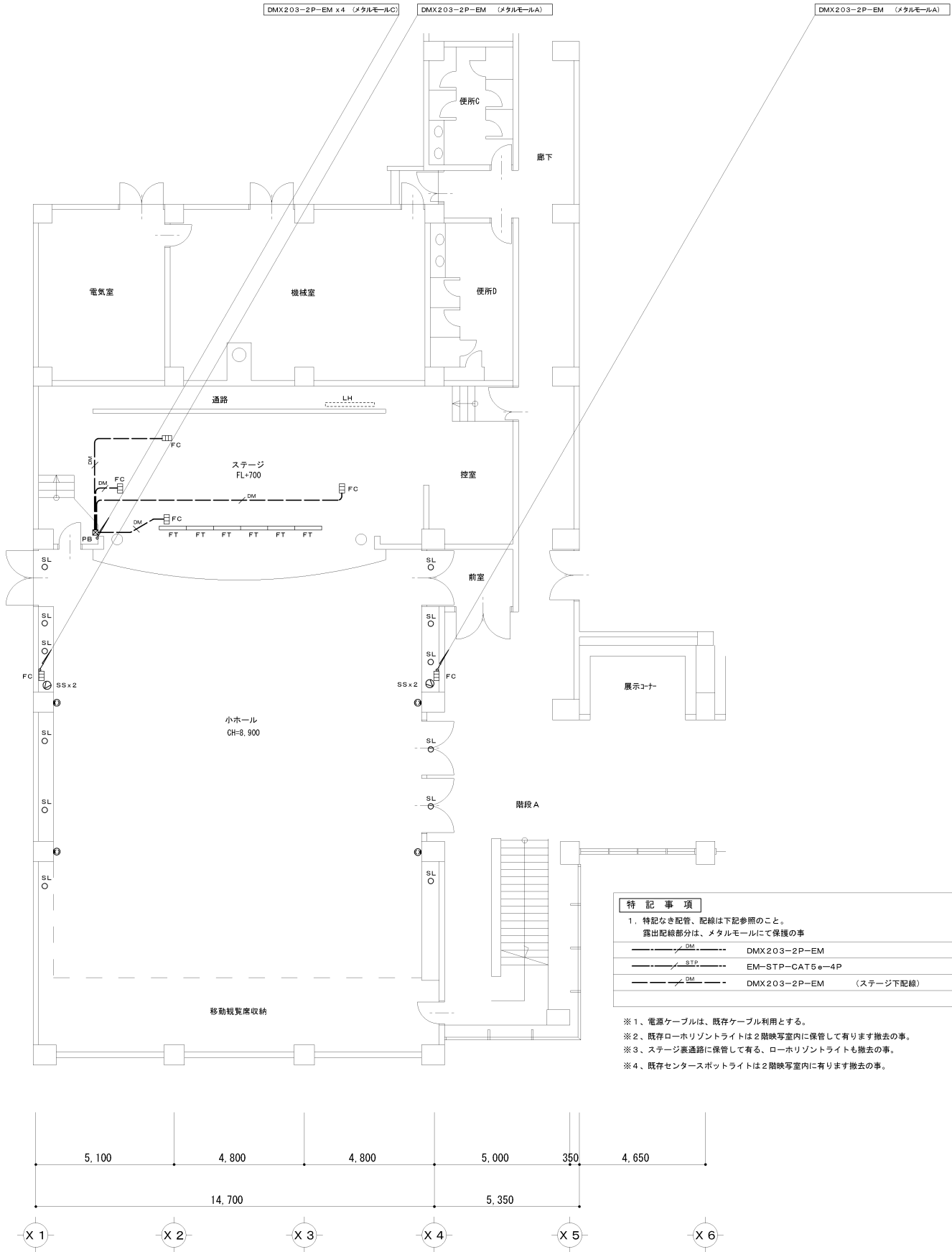
【注記】：更新及び撤去する機器は全て廃棄として処分の事。

JB～UH間：ボーダーケーブル5.5"～5C・制御 更新する
JB～1S間：ボーダーケーブル5.5"～5C・制御 更新する
JB～1B間：ボーダーケーブル5.5"～3C・制御 更新する



2 階 平 面 図 S=1:100

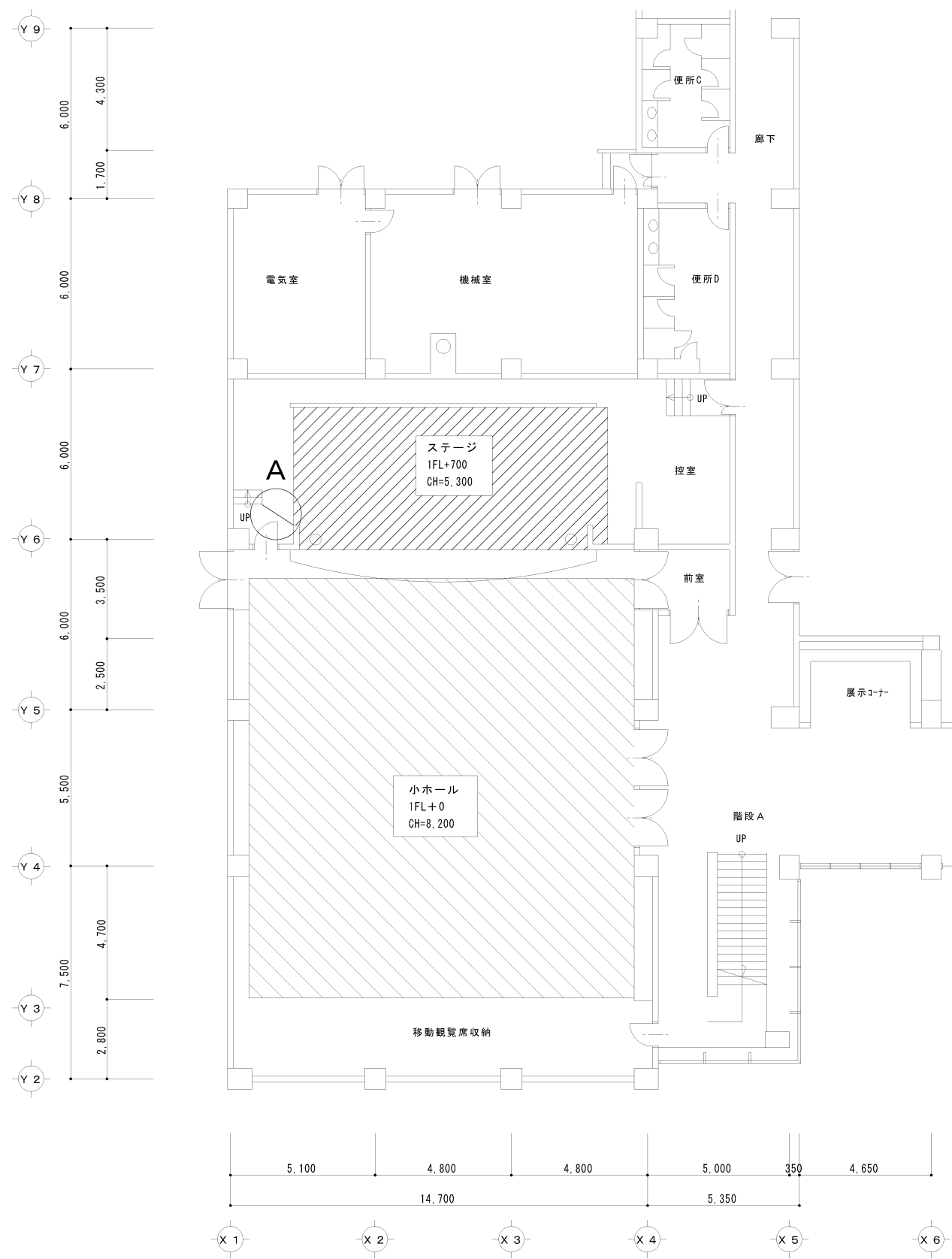
承認	設計	担当	縮 尺 A1: 1/100 A3: 1/200	工事名称 町民交流センター照明器具改修工事	E - 1 2 No.
			設計年月日 R06.07	図面名称 小ホール 1, 2 階 舞台照明改修平面図	



特 記 事 項	
1. 特記なき配管、配線は下記参照のこと。 露出配線部分は、メタルモールにて保護の事	
DM	DMX203-2P-EM
STP	EM-STP-CAT5e-4P
DM	DMX203-2P-EM (ステージ下配線)

※1、電源ケーブルは、既存ケーブル利用とする。
※2、既存ローホリゾントライトは2階映写室内に保管して有ります撤去の事。
※3、ステージ裏通路に保管して有る、ローホリゾントライトも撤去の事。
※4、既存センタースポットライトは2階映写室内に有ります撤去の事。

1 階 平 面 図 S=1:100



1 階 平 面 図

- 凡例
- ローリングタワー 1基、H=5,300
ローリングタワー稼働範囲床養生：
緩衝床養生シート敷きの上 ラワン合板T2 t=12
 - ローリングタワー 2基、H=8,200
ローリングタワー稼働範囲床養生：
緩衝床養生シート敷きの上 ラワン合板T2 t=12

A：ステージ内配線工事用壁面開口

